



サイバーセキュリティ シンポジウム道後 2025

Cyber Security Symposium in Dogo

サイバーセキュリティと事業継続

～持続可能な成長に向けた戦略～

会期 2025年3月7日(金)・8日(土)

会場 愛媛大学 城北キャンパス (愛媛県松山市文京町3)
※一部ハイブリッド方式

- 01 主催者挨拶
- 03 実施体制、協賛等
- 04 会場案内図
- 06 3月7日プログラム
- 16 3月8日プログラム
- 20 企業・団体出展紹介(現地展示)
- 31 実施体制



主催：サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会



3月7日（金）	テーマ・講師	掲載頁
12:00 ～	入場受付・開場	
12:45 ～（15分）	開会あいさつ・オリエンテーション	
13:00 ～（40分）	基調講演 「サイバーセキュリティ政策の現状と動向について」 講師 山内 智生 氏 総務省 サイバーセキュリティ統括官	P.6
13:40 ～（20分）	講演① -1 「サイバー空間をめぐる脅威の情勢と取るべき対応」 講師 中川 陽介 氏 警察庁 サイバー警察局サイバー企画課 サイバー事案防止対策室 課長補佐	P.6
14:00 ～（20分）	講演① -2 「サイバー空間の脅威の情勢とJC3の主な活動～産官学の連携の現場から～」 講師 櫻澤 健一 氏 一般財団法人 日本サイバー犯罪対策センター	P.7
14:20 ～（30分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
14:50 ～（40分）	特別講演 「サイバーインテリジェンスが事業継続にもたらすもの」 講師 軍司 祐介 氏 株式会社マキナレコード 代表取締役	P.7
15:30 ～（30分）	企業プレゼン	
16:00 ～（30分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
16:30 ～（60分）	パネルディスカッション 「インシデント対応の現実と理想：ベストプラクティスを求めて」 コーディネーター 佐藤 公信 氏 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティネクサス・主任研究員 パネリスト 小川 久仁子 氏 個人情報保護委員会 事務局 審議官 パネリスト マキロイ 七重 氏 最高検察庁刑事部先端犯罪検察ユニット（JPEC）事務取扱検事 パネリスト 間下 義暁 氏 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 JAXA-CSIRT 副CSIRT長	P.8
17:30 ～（5分）	休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
17:35 ～（20分）	ナイトセッションプレゼン ナイトセッション各座長による問題提起・プレゼンテーション	P.12
17:55 ～（15分）	休憩（意見交換会場へ移動）	
18:10 ～（70分）	意見交換会	
19:20 ～（15分）	休憩（ナイトセッション会場へ移動）	
19:35 ～（120分）	ナイトセッション (1) サイバーセキュリティお助け隊セッション パネリスト 我満 英樹 氏 セントラル警備保障株式会社 パネリスト 佐藤 栄城 氏 独立行政法人情報処理推進機構 パネリスト 関原 優 氏 三井物産セキュアディレクション パネリスト 野田 幹稀 氏 大阪商工会議所 パネリスト 藤田 優 氏 ラディックス株式会社 (2) やってる？脅威インテリジェンスを用いたサイバー攻撃対策 座長 北條 孝佳 氏 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士 鳥越真理子 氏 楽天フィンテックCSIRT・Senior Cyber Threat Hunter (3) サイバーセキュリティ業界の未来と果たすべき役割 座長 鶴飼 裕司 氏 株式会社FFRIセキュリティ 森 達哉 氏 早稲田大学理工学術院・教授 (4) サイバー攻撃のリアル～現実のインシデントではどう対応したのか／せざるを得なかったのか 座長 北尾 辰也 氏 一般社団法人日本シーサート協議会 専門委員／国土交通省 最高情報セキュリティアドバイザー	P.12 (P.13

3月8日（土）	テーマ・講師	掲載頁
9:00 ～	開場	
9:45 ～（5分）	開会あいさつ	
9:50 ～（15分）	各地関連シンポジウムプレゼンテーション	
10:05 ～（40分）	講演② 「持続可能な成長に向けた暗号技術の研究開発」 講師 大久保 美也子 氏 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 セキュリティ基盤研究室	P.16
10:45 ～（30分）	企業プレゼン	
11:15 ～（25分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
11:40 ～（40分）	講演③ 「パソナグループにおけるDXの取組みとセキュリティ対策」 講師 河野 一 氏 株式会社パソナグループ 専務執行役員 CIO グループDX統括本部長 西本 逸郎 氏 株式会社ラック 技術顧問	P.16
12:20 ～（40分）	ランチセッション 「多層防衛で実現するメールセキュリティの新時代」 登壇者 加瀬 正樹 氏 株式会社TwoFive CTO ※聴講者には、株式会社TwoFive様からご提供されたランチを無料で提供いたします。	P.17
13:00 ～（30分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
13:30 ～（40分）	講演④ 「複雑で難しいサイバーセキュリティを単純明快にする～断片的な情報を図解することでつなげる理解～」 講師 佳山 こうせつ 氏 東京電機大学サイバーセキュリティ研究所／Ridgeline株式会社	P.17
14:10 ～（20分）	企業プレゼン	
14:30 ～（25分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
14:55 ～（40分）	ナイトセッション総括	P.17
15:35 ～（5分）	閉会あいさつ	



実行委員会 委員長
こばやし しんや
小林 真也
愛媛大学大学院 教授

通信インフラの高度化やスマートフォンの普及等に伴い、デジタル技術を活用した多様なサービスは国民生活において不可欠なものとなっています。

生産性の向上や新たなビジネスチャンスの創出を促す一方で、サプライチェーンの交雑化・グローバル化によって生じた脆弱性を狙った攻撃による被害は増加の一途を辿っており、大手出版社のサービスが機能停止に陥る事例も発生するなど、その脅威は深刻なものとなっています。

あらゆる組織の事業継続にとってサイバーセキュリティ対策は避けて通れない重要な課題となっています。

サイバー攻撃による情報漏洩やシステムダウンは、企業の信頼性やブランド価値を損なうだけでなく、経済的な損失をもたらす可能性があります。サイバーセキュリティ対策には一定のコストがかかりますが、その投資が将来的なリスク軽減と経済的損失の回避につながるという理解を踏まえ、コスト対効果を考慮したセキュリティ投資のあり方や、限られたリソースの中で最大限の効果を引き出すための戦略が重要です。

また、サイバーセキュリティは単なる技術的な問題ではなく、組織全体の文化や意識改革が必要です。ネットワークにつながる一人ひとりがセキュリティ意識を持ち、日常業務においてリスクを認識することが求められます。

四国では、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）」を10年以上前から毎年開催し、全国から専門家や関心の高い方々を幅広くお招きして、サイバーセキュリティの重要性について広く普及・啓発を図るとともに、参加者同士の連携・交流を深める場として、取組を継続してきたところです。

また、2022年12月に発足した「四国サイバーセキュリティネットワーク」では、産学官の幅広い組織の相互連携を促進し、年間を通したセミナー・演習の実施、情報共有の強化等により、四国地域全体におけるサイバーセキュリティに対する意識の向上や人材育成につながる取組を推進しています。

今回のSEC道後は、「サイバーセキュリティと事業継続～持続可能な成長に向けた戦略～」をテーマに掲げ、サイバー攻撃が常態化する現代において、組織がどのようにして事業を継続し、持続可能な成長を実現していくかについて、政策動向をはじめ、サイバー攻撃の最新動向や対抗するための技術・手法等について専門家や実務者による多角的な視点からの議論を深め、参加者同士のネットワーキングや意見交換を通じて、新たな知見やアイデアを得る機会となることを期待しています。

SEC道後が、参加される皆様の情報収集と、皆様が関係する組織の事業継続と持続可能な成長に向けた一助となり、安全・安心なデジタル社会の構築と地域の発展に役立てば幸いです。



顧問
つじ い しげ お
辻 井 重 男 氏

中央大学研究開発機構 フェロー・機構教授
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会 理事長
東京工業大学 名誉教授

ネット社会、現実世界×仮想世界が限りなく
広がり自由が拡大する中で、個人の権利・プ
ライバシーを確保しつつ、矛盾相克や虚偽情報
が抑止された楽しく自由で安全な社会基盤の
MELT-Up が益々強く求められています。
MELT-Up とは、私の勝手な造語ですが、下
記の通りです。

Management：管理・経営

Ethics：倫理・人情・他者への配慮

Law：広い意味の法制度・規則

Technology：技術

この4者が組み合わされて生み出される相乗
効果が MELT-Up です。今会も MELT-Up を
目指した多くの研究成果が発表されて参加者相
互が刺激され、明るい社会のセキュリティ基盤
の構築に寄与することを大いに期待していま
す。



顧問
しも むら まさ ひろ
下 村 正 洋 氏

NPO法人
日本ネットワークセキュリティ協会
幹事・事務局長

インターネットにバラ色の未来を夢見た90
年代。新たな企業やサービスが生まれ、物や人
がつながる社会が出現し、ネットワークは不可
欠な社会インフラとなりました。この利便性は
善良な人々に幸せをもたらす一方、悪意を持つ
人々や他者に影響力を行使したい組織にも同様
の利便性を提供しています。そして現在、生成
AIが加わり、人類が自ら生み出した技術を制御
できるかが問われる時代に突入しました。

サイバーセキュリティには多面的な側面があ
ります。人類、国家、社会、組織、家庭、そし
て個人。それぞれが守るべきものや守る方法は
異なります。しかし、これらが調和し、連携す
ることが何より重要です。サイバーセキュリ
ティは、各分野が協調してこそ実現できるもの
です。

毎年、道後に関係する人々が集まり、情報を
交換し、親交を深めることには大きな意義があ
ります。このシンポジウムへの参加を、ぜひお
勧めいたします。



2022年まで顧問をされていた安田浩氏が2024年7月ご逝去されました。
シンポジウム立ち上げの際より、ご尽力賜りました。ご生前のご功労に敬意を表しますと
ともに、心からご冥福をお祈りいたします。

サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会一同



❖ 主 催 ❖

サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

❖ 共 催 ❖

情報セキュリティ大学院大学
一般社団法人情報処理学会四国支部
IEEE Shikoku Section
四国サイバーセキュリティネットワーク
総務省四国総合通信局
愛媛大学
愛媛県
松山市

❖ 協 力 ❖

ISACA東京支部
ISACA名古屋支部
ISACA大阪支部
ISACA福岡支部
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人テレコムサービス協会四国支部
日本ケーブルテレビ連盟四国支部
愛媛県IT推進協会

❖ 後 援 ❖

サイバーセキュリティ戦略本部
NPO法人ITコーディネータ協会
独立行政法人情報処理推進機構
一般社団法人情報サービス産業協会
フィッシング対策協議会
NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会
NPO法人デジタル・フォレンジック研究会
経済産業省四国経済産業局
四国経済連合会
四国情報通信協力会
愛媛県商工会議所連合会
愛媛県情報サービス産業協議会
愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会
検察庁先端犯罪検察ユニット
一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター

(順不同)

❖ SEC道後2025 特別協賛 ❖

株式会社マキナレコード

❖ SEC道後2025 協賛・出展企業（団体） ❖

株式会社インターネットイニシアティブ
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
独立行政法人情報処理推進機構
国立研究開発法人情報通信研究機構
S k y 株式会社
SecureNavi株式会社
ソフトバンク株式会社
株式会社TwoFive
トレンドマイクロ株式会社
フォーティネットジャパン合同会社
万記子コミュニケーションズ合同会社
楽天グループ株式会社

株式会社アイランドシックス
アンカーテクノロジー株式会社
SCSKセキュリティ株式会社
株式会社STNet
キーサイト・テクノロジー株式会社
株式会社くまなんピーシーネット
サイエンスパーク株式会社
一般社団法人 情報処理学会四国支部
デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
Top Out Human Capital株式会社
一般財団法人 日本データ通信協会
日本電気株式会社
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
株式会社未来研究所
株式会社ラック
株式会社ラネクシー

株式会社アズジェント
株式会社伊予銀行
株式会社インテック
株式会社えむぼま
Kela株式会社
四国情報通信懇談会
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会
TeamT5株式会社
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
富士通Japan株式会社
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

株式会社ENNA
株式会社NTTデータ四国
愛媛銀行
愛媛信用金庫
株式会社GRCS
都築テクノサービス株式会社
株式会社ネクステップ・ソリューションズ
株式会社ヨドック
IEEE 四国支部

(口数別 五十音順)

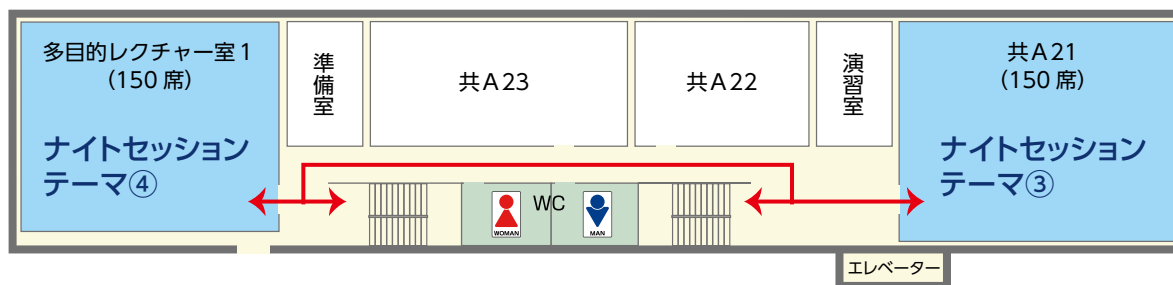


【シンポジウム会場案内図】 愛媛大学城北キャンパス

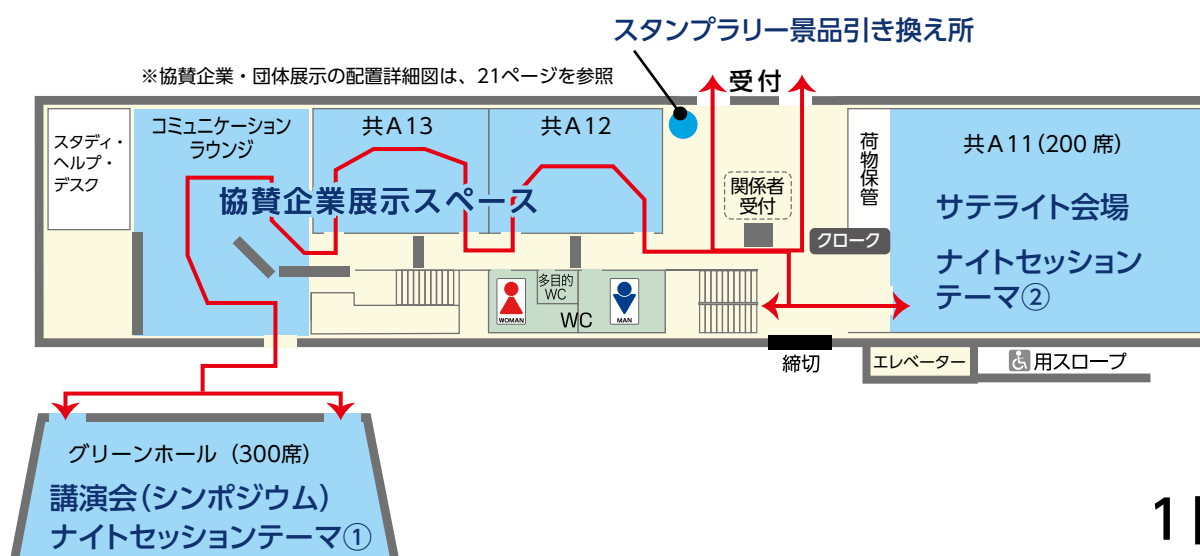


愛媛大学構内は、全面禁煙です。

拡大図



2 階



1 階

※出展ブースの詳細は、20ページ以降をご覧ください。

基調講演

13:00 ~ (40分)

サイバーセキュリティ政策の現状と動向について

今日、サイバー空間は、量的に拡大・質的に進化するとともに、実空間との融合が進んでいる。DXが進展し、公共空間化が進むサイバー空間では、ネットワークやサービスに障害が生じると大きな混乱に繋がりがねないという脆弱性もはらんでいる。そのようなリスクを起こす大きな要因となっているサイバーセキュリティ上の脅威に対する政府全体及び総務省の取組を紹介する。



【講師】

やまうち ともお 氏
山内智生氏

総務省
サイバーセキュリティ統括官

1989年旧郵政省入省。2022年6月より現職。情報通信分野のサイバーセキュリティ（CS）政策並びに総務省及びその独立行政法人等のCSの確保を担当。2021年まで在籍したNISCでは、CS戦略本部事務局を担当。2021年9月に閣議決定されたCS戦略のとりまとめ、2020年東京オリンピックにおけるCS対策の促進、CS基本法の改正、重要インフラ行動計画のとりまとめなどを担当。総務省では、4G、多言語翻訳、衛星通信などの研究開発、携帯電話や無線LANの技術基準の策定などの電波監理を主に担当。

講演①-1

13:40 ~ (20分)

サイバー空間をめぐる脅威の情勢と取るべき対応

サイバー空間を取り巻く環境は絶えず変容し、サイバー空間をめぐる脅威は極めて深刻な情勢が続いています。本講演では、警察において把握しているランサムウェア被害等の脅威の情勢、サイバー警察局の取組、被害発生時における対応等についてお話しします。



【講師】

なか がわ よう すけ 氏
中川陽介氏

警察庁
サイバー警察局サイバー企画課
サイバー事案防止対策室 課長補佐

2010年、JR東海入社。鉄道信号設備・通信設備の保守・更新、本社総務部門における東京五輪警備対応や新型コロナウイルス対応を経験した後、情報システム部門にて情報セキュリティ関連の業務全般に従事。2024年7月、官民人事交流制度により警察庁入庁し現職。

講演①-2

14:00 ~ (20分)

サイバー空間の脅威の情勢とJC3の主な活動 ～産官学の連携の現場から～

JC3は、サイバー空間の脅威が深刻化する中、事後的に防護措置を講ずる受け身の対応を変え、産学官（警察）それぞれが持つサイバー空間の脅威への対処経験を集約・分析した情報を組織内外で共有し、脅威を特定、軽減及び無効化するための活動に貢献することを目的として、10年間活動してきました。

日頃は、金融犯罪対策、eコマース対策、情報流出対策、脅威情報、マルウェア解析、国際連携等の各グループで活動していますが、今回の講演ではその中で得られた様々な脅威に関する情報や対策のためのノウハウをご紹介します。



【講師】

さくら ざわ けん いち
櫻 澤 健 一 氏

一般財団法人
日本サイバー犯罪対策センター

1988年警察庁入庁。富山県警察本部長、内閣情報調査室審議官、警察庁総括審議官等を経て、2022年8月警備局長で退官。テロやサイバー攻撃等に対する情報収集分析や対策、災害対策、大規模警備等を担当する警備部門を中心に、刑事、生活安全、交通等の分野や組織管理部門のキャリアを積んだ。特に、アメリカ同時多発テロ事件以降は、インドネシアでの大使館勤務や我が国の国際テロ対策・インテリジェンスの中核ポストを務めた。2023年1月から現職。静岡大学情報学部客員教授。

特別講演

14:50 ~ (40分)

サイバーインテリジェンスが事業継続にもたらすもの

昨今、サイバー攻撃の高度化や複雑化に伴い、「サイバーインテリジェンス（脅威インテリジェンス）」や「能動的サイバー防御」への注目が急速に高まっています。こうした背景を踏まえ、本講演では、インテリジェンスを活用した予防的対策や迅速な対応力強化の必要性和、具体的な方法を紹介します。また、リスク管理を超えた競争優位性の確立や経営への貢献についても考察し、事業継続と成長を支える新たな視点を提案します。



【講師】

ぐん じ ゆう すけ
軍 司 祐 介 氏

株式会社マキナレコード
代表取締役

エンジニアのキャリアを経て、セキュリティ専門家としてヤフー株式会社、株式会社ミクシィ、楽天株式会社などでセキュリティ向上に寄与する。各組織でCSIRTチームの構築や、M&A時のデューデリを含む各種アセスメント、セキュリティ施策の設計・運用など、セキュリティ分野において15年以上の経験を持つ。2015年にサイバーインテリジェンスに出会い、強い感銘を受け、サイバーインテリジェンスを日本に広めていく決意を持ってマキナレコードを創業。

パネルディスカッション

16:30 ~ (60分)

インシデント対応の現実と理想： ベストプラクティスを求めて

インシデントが組織で起こった際に、どのような対応をとらないといけないか。

法執行機関の捜査への対応や法律への対応といった視点から、対応を依頼する側、対応を実施する側として何をすべきか、すべきでないか。慌ただしく押し寄せるインシデント対応の波へどのように対応していくかを改めて考える。



【コーディネーター】

さとう ひろのぶ
佐藤 公 信 氏

国立研究開発法人情報通信研究機構
サイバーセキュリティネクサス・
主任研究員

博士(工学)、CISSP

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) サイバーセキュリティネクサス 主任研究員、情報処理安全確保支援士実践講習講師、SEC道後プログラム検討会委員。

高知工科大学 地域連携機構 助手、高知工業高等専門学校 准教授を経て、2017年4月より現職。

CYNEX Co-Nexus Cセキュリティトレーニング研究開発運用に従事。SecHack365表現駆動コースコースマスター。



【パネリスト】

おがわ くにこ
小 川 久仁子 氏

個人情報保護委員会
事務局 審議官

総務省総合通信基盤局消費者行政課企画官、電波政策課企画官、移動通信課移動通信企画官、個人情報保護委員会事務局参事官及び総務省総合通信基盤局消費者行政第二課長、サイバーセキュリティ統括官付参事官(総括担当)を経て、2024年7月より個人情報保護委員会事務局審議官(現職)として個人情報保護法の法制全般、個人情報保護法のいわゆる3年ごと見直しに関する検討などを担当。



【パネリスト】

まきの ななえ
マキロイ 七 重 氏

最高検察庁刑事部
先端犯罪検察ユニット(JPEC)
事務取扱検事

平成16年に検事任官後、東京、千葉、福岡、名古屋などの地方検察庁で勤務し、数多くの刑事事件を担当。

平成27年から令和3年までは、法務省や国連薬物・犯罪事務所(ウィーン)で勤務し、サイバー犯罪を含む犯罪防止・刑事司法分野の国際会議運営等に携わる。

東京地方検察庁刑事部サイバー係を経て、令和6年4月から現職。民間企業や外国法執行機関等と連携し、情報通信技術が手段として用いられた犯罪等の解明に有益な情報を収集・管理・提供することで、全国の検察庁を支援している。



【パネリスト】

まし た よし あき
間 下 義 暁 氏

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
JAXA-CSIRT 副CSIRT長

警視庁に入庁し、刑事や国際テロ対策、サイバー攻撃対策に従事。その大手監査法人リスクアドバイザリー、大手金融機関サイバーセキュリティを経て2023年よりJAXAセキュリティ統括課で勤務している。JAXA-CSIRTの副CSIRT長として、インシデントハンドリング、外部組織との連携に従事している。業務の傍ら、ISACA東京支部教育委員としても活動している。

意見交換会ブース展示協賛

SecureNavi株式会社



みかんジュース蛇口提供



SECURITY × INTELLIGENCE

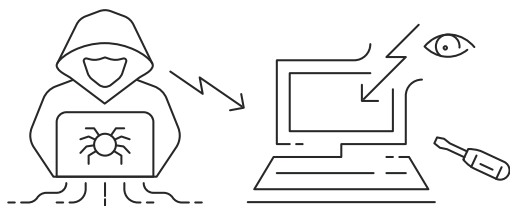
安心・安全な社会を実現するために

世界中の叡智を集め発信し、訴求していく

SOLUTION

01 サイバーインテリジェンスの 導入、活用支援

先行する海外製品や、既存のセキュリティ対策とサイバーインテリジェンスを活用しサイバー攻撃を事前に探り被害を防ぐ試みを支援します。



Prevent damage from cyber attacks

02 セキュリティコンサルティング サービス

資産やリスクなど、情報セキュリティの整備から規定・ガイドライン、教育まで幅広く支援します。お客様の業態や目的に合わせてご提案します。



PARTNERS



お問い合わせ

株式会社マキナレコード | info@machinarecord.com

25 twofive

国内最大級のメール セキュリティベンダー

メールから新時代のメッセージングまで
コミュニケーションのセキュリティ課題に挑むリーディングカンパニーです。



事業内容

電子メールの信頼性・安全性向上の鍵となる3本のソリューションをご提供しています。

25 twofive



メッセージングテクノロジー

電子メールに関する
多彩な製品と教育・コンサルティング



ITセキュリティ

ITシステムに関する
セキュリティソリューションとコンサルティング



モバイルテクノロジー

最新のモバイルネットワークやセキュリティを
提供するためのプラットフォームサービス

主要製品

多種多様な要求に、厳選したソリューションで対応します。

DMARC / 25

クラウド型 DMARC 解析サービス

PHISHNET / 25

クラウド型フィッシングサイト検知サービス

EXTRAIN / 25

主に電子メール分野に特化した教育サービス

BIMI 技術サービス

ブランドロゴ表示・証明書設定サービス

MXSCORE / 25

電子メールシステムのセキュリティ対策状況を
可視化・スコアリングするサービス

BITSIGHT

企業のサイバーセキュリティリスクを
分析・可視化するコンサルティングサービス

ご相談やご不明点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 TwoFive

25 twofive

03-5704-9948

Mail : info@twofive25.com

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-1-4 画廊ビル3F

FAX : 050-3730-1342

WEB : <https://www.twofive25.com/>

ISMS認証も、Pマークも、 カンタンに。

SecureNaviは、ISMS認証やPマークの
自動化・効率化を実現するクラウドサービスです。



SEIBAN

BIZREACH

モナロー

yappli

HEROZ

GA

CADDi

KAIZEN PLATFORM

認証
取得率 **100%** ※1

最短
取得期間 **4ヶ月** ※2

作業
時間 **46%削減** ※3

※1 2022年4月現在、SecureNaviを利用してISMS認証審査を受けた企業が対象。※2 SecureNaviを利用してISMS認証を取得した企業が対象。※3 SecureNaviを利用してISMS認証を取得した企業へのアンケートから作業時間を試算し、コンサルティングサービス利用時と比較して算出。

認証の新規取得でも、維持・運用でも自動化・効率化

認証の新規取得に利用する場合

- 1 タスクの洗い出し不要で、ガイドに沿って進めていくだけ
- 2 Excel・Wordによる数十種類のファイル作成ゼロ
- 3 豊富なマニュアル・解説動画で初心者でも利用可能

認証の維持・運用に利用する場合

- 1 Excel・Wordによる煩雑なアナログ管理を削減し、日々の運用や維持・更新審査を効率化
- 2 情報のクラウド集約による、属人化防止・引き継ぎ効率化



タスク管理



Eラーニング



リスクアセスメント
自動提案



内部監査
サポート機能

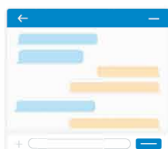


マネジメントレビュー



外部委託先の
一括管理機能

満足度100%のサポート体制



質問内容・回数が
無制限のサポートチャット



有資格者や経験豊富な
コンサルタントによる支援

ISMS新規格への移行は自動対応



文書・リスクアセスメントの
移行対応はワンクリック



適用宣言書は見直し不要で
自動アップデート

SecureNavi お問い合わせ

inside_sales@secure-navi.jp <https://secure-navi.jp> 050-1781-3655

ナイトセッションプレゼンテーション

17:35 ~ (20分)



【コーディネーター】^{もり い ま さ かつ} 森 井 昌 克 氏 神戸大学大学院 名誉教授・特命教授

大阪生まれ。1989年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程通信工学専攻修了、工学博士。同年、京都工芸繊維大学工学部助手。愛媛大学工学部講師、同助教授、1995年徳島大学工学部教授を経て、現在、神戸大学大学院工学研究科教授。情報セキュリティ大学院大学客員教授。情報理論、サイバーセキュリティ、暗号理論等の研究、教育に従事。加えて、安全・安心に基づくサイバー社会構築に向けての社会活動にも従事。

関係各学会等の委員長、内閣府等各種政府系委員会の委員を歴任。2018年情報化促進貢献個人表彰経済産業大臣賞受賞。2019年総務省情報通信功績賞受賞。AMED（日本医療研究開発機構）プログラムスーパーバイザー。電子情報通信学会フェロー。

ナイトセッション（テーマ毎のディスカッション）

19:35 ~ (120分)

セッション(1)

サイバーセキュリティお助け隊セッション

サイバーセキュリティお助け隊の事務局を務めるIPAとお助け隊事業者4社をパネリストに、お助け隊の現状と課題、そして今後に対してそれぞれの要望、さらに利用者としてのフロアからの意見、提言、要望を受け議論を進める。

が 我 佐 関 の 野 藤	まん 満 藤 原 だ 田 田	ひで 英 栄 もと 幹	き 樹 城 優 稀 優	氏 セントラル警備保障株式会社
				氏 独立行政法人情報処理推進機構
				氏 三井物産セキュアディレクション
				氏 大阪商工会議所
				氏 ラディックス株式会社

セッション(2)

やってる？脅威インテリジェンスを用いたサイバー攻撃対策

近年、組織のサイバー攻撃対策にサイバー脅威インテリジェンス（CTI）の活用を取り込む動きが加速しています。運用レベルでは、脆弱性・攻撃手法・被害情報等を収集分析し、予防策や被害拡大防止に活用されます。今回は、CTIの具体的な活用方法、攻撃手法のトレンド、CTIの導入によるコストと効果等、関心の高いトピックをディスカッションを通して深掘りできればと考えています。



^{ほう じょう たか よし} 北 條 孝 佳 氏

西村あさひ法律事務所・
外国法共同事業
パートナー弁護士

危機管理、企業不祥事等の企業法務に従事。特にサイバーセキュリティに関する事前対策、事後調査・法的措置・再発防止策に関する法的アドバイスを多数実施。警察庁技官として10年以上従事し、数多くの事案対応の経験を持つ。NICT招へい専門員、埼玉県警察・徳島県警察のサイバー犯罪対策技術顧問・アドバイザー、日本シーサート協議会の専門委員などを務め、各企業の役員、法務部、システム担当者向けへの講演活動も行っている。



^{とり こと まり こ} 鳥 越 真理子 氏

楽天フィンテックCSIRT・
Senior Cyber Threat Hunter

航空自衛隊、監査法人、セキュリティコンサルタント、ISAC事務局、社会起業を経て、2024年8月より現職。専門は、システム監査・保証（SOC1/SOC2）、ITガバナンス、情報セキュリティマネジメント、内部統制、サイバーセキュリティ対策実装、インシデント対応とデジタルフォレンジック。CISA、CISM、CGEIT、システム監査技術者、Certified SIM3 Auditor

セッション(3)

サイバーセキュリティ業界の未来と果たすべき役割

サイバーセキュリティ、サイバー安全保障等の分野において、政策、産業、研究等の今後のあるべき姿・果たすべき役割を、民間企業、アカデミア、官等様々なプレイヤーの視点でディスカッションする。それぞれの立場で考えるあるべき姿、思い、制約など、本音の議論を通して得られる共通解を探る。



う かい ゆう じ 氏
鵜飼 裕司 氏
株式会社FFRIセキュリティ

1973年徳島県生まれ。工学博士。2003年に渡米し、カリフォルニア州 eEye Digital Security社に入社。セキュリティ脆弱性分析や脆弱性診断技術、組み込みシステムのセキュリティ脅威分析等に関する研究開発に従事。2007年、セキュリティコア技術に関する研究、コンサルティング、セキュリティ関連プロダクトの開発・販売を主事業とする株式会社FFRIセキュリティを設立。また、世界最大級のセキュリティカンファレンス「BlackHat」におけるアジア初のContent Review Board Memberを務めるなど、サイバーセキュリティ業界のトップランナーの一人として活躍している。



もり たつ や 氏
森 達哉 氏
早稲田大学理工学術院・教授

早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 教授。博士（情報科学）。NTT研究所でインターネット計測・解析の研究に従事した後、2007年にウィスコンシン州立大学マディソン校での訪問研究を機にセキュリティ研究へ転向。現在は、自動運転、AI、Web3などのエマージングテクノロジーを対象とした情報セキュリティの研究に従事。攻撃者視点のオフENSEIVEセキュリティ、および人間中心のセキュリティなど、学際的アプローチを信条とする。

セッション(4)

サイバー攻撃のリアル～現実のインシデントではどう対応したのか ／せざるを得なかったのか

何事も実際に対応するとなると想定外の状況に直面しますが、サイバー攻撃も例外ではありません。現実のインシデント対応において、どのような状況に直面し、どう対応したのか／対応せざるを得なかったのか、このような体験を語り合いたいと思います。（本セッションはチャタムハウスルールとします）



きた お たつ や 氏
北 尾 辰也 氏
一般社団法人日本シーサート協議会
専門委員
国土交通省
最高情報セキュリティアドバイザー

三菱UFJ銀行のシステム子会社に30年間勤務。2009年から2021年の12年間は銀行に出向しサイバーセキュリティに従事する。2022年4月に独立しサイバーセキュリティに関するコンサルティング業務を行う。2022年11月から国土交通省の最高情報セキュリティアドバイザーを務めるとともに、日本シーサート協議会の専門委員や金融ISACの個人賛助会員としても活動している。

公共分野の 安心を支える

セキュリティ研修



窓口等業務改革支援



業界動向リサーチ



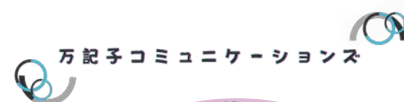
事業販売広報企画支援



CONTACT US

takakura@makiko.co.jp

<https://www.makiko.co.jp/corp>



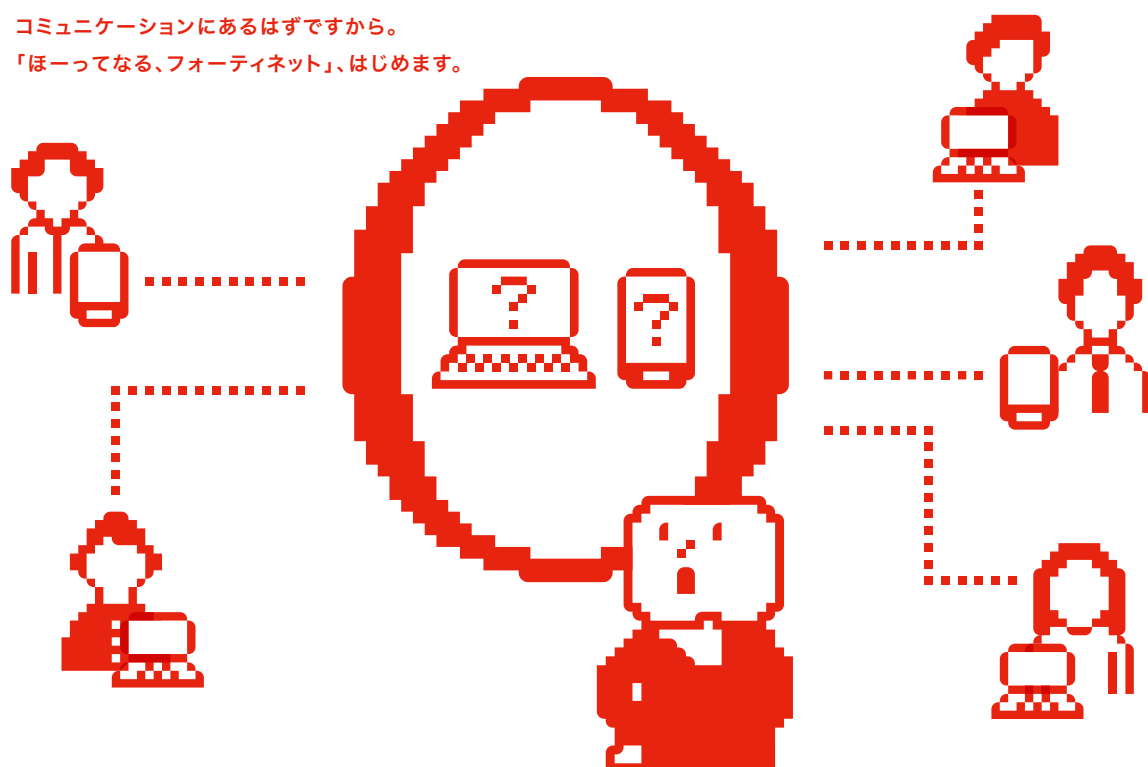
長年の自治体・公共経験から
お手伝いします！

愛媛県・市町DX推進専門官を
就任中

信じないこと、 からはじめよう。

企業がリモートワークを推奨することも、
クラウドやAIを活用することも、もはや当たり前の世界。
けれど情報のシェアが加速することで、事故の危険性もかつてなく高まっています。
組織は、相手がたとえ内部の人間だろうと、悪意なきものだろうと、
まず疑ってかかるくらいがちょうどいい。
サイバーセキュリティのプロとして、フォーティネットは思います。
そんな「ゼロトラスト」の視点をもった会社こそが、本当の安心を勝ち獲れるのだと。

一方で、セキュリティというと閉じた専門用語ばかりが飛び交いがち。
これは見直すべきだとわたしたちは考えました。
組織の経営者にまで伝わらないからです。
何に着眼すべきか？セキュリティには何ができるのか？
専門家でなくても発見や納得を得られるような語り口で、伝えていきたいのです。
ゼロトラストが基本の時代、パートナーとしての信頼関係を築く第一歩は、
コミュニケーションにあるはずですから。
「ほーってなる、フォーティネット」、はじめます。



未来は、サイバーセキュリティで変わる。

FORTINET



講演②

10:05 ~ (40分)

持続可能な成長に向けた暗号技術の研究開発

我々の研究室では、安心・安全な社会の確立を目指し、プライバシー保護連合学習システム『DeepProtect』等を含む新たな暗号・認証技術やプライバシー保護技術の研究開発および、その安全性評価などを実施することにより、安全な情報利活用を推進している。本発表では、それらの研究開発について紹介する。



【講師】

おおくぼ みやこ
大久保 美也子 氏

国立研究開発法人
情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所
セキュリティ基盤研究室

2004年3月中央大学理工学部博士後期課程修了。
博士(工学)。

1997年4月日本電信電話株式会社入社。

2010年4月独立行政法人情報通信研究機構入所。現在、サイバーセキュリティ研究所セキュリティ基盤研究室主任研究員。

2012年～2013年にスイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)に研究員として在籍。

暗号理論および暗号プロトコルの設計・開発を専門とする。

講演③

11:40 ~ (40分)

パソナグループにおけるDXの取組みとセキュリティ対策

パソナの仕事は「人を活かす」こと。DXの推進においても、デジタルテクノロジーの進展と、働く一人ひとりの役割や志向の多様化に応じた活躍の場を創出していくことを最終的なゴールに据え、インフラ・セキュリティや基幹システムのレイヤを含めた全方位での最新化・デジタル化を展開しております。本セッションでは、DX戦略の全体像や重点施策とともに、情報セキュリティ面での対策や取組みについてご紹介させていただきます。



【講師】

こうの はじめ
河野 一 氏

株式会社パソナグループ
専務執行役員 CIO
グループDX統括本部長

2007年株式会社パソナ入社。基幹システム構築等主要プロジェクトの責任者、ITシェアード会社の取締役を経て、2018年9月より株式会社パソナグループ 常務執行役員 CIO、2022年9月より現職。

グループ CIOとして、インフラ、セキュリティ、業務基幹システム全般に対する管掌とともに、デジタルを活用した新規事業開発、事業部門担当者に向けた社内外のDX人材の育成にも注力。2024年1月 Forbes CIO AWARD 2023-2024 受賞。



【講師】

にし もと いっ ろう
西本 逸郎 氏

株式会社ラック
技術顧問

1986年(旧)株式会社ラック入社。プログラマーとして数多くの情報通信技術システムの開発や企画を担当。2000年より、情報通信技術の社会化を支えるため、サイバーセキュリティ分野にて新たな脅威への研究や対策に邁進。わかりやすさをモットーに、サイバーセキュリティ対策の観点で、官庁や公益法人、企業、大学、各種イベントやセミナーなどでの講演や新聞・雑誌などへの寄稿、テレビやラジオなどでコメントなど多数実施。

ランチセッション

12:20 ~ (40分)

多層防御で実現するメールセキュリティの新時代



【登壇者】

か せ まさ き
加 瀬 正 樹 氏
株式会社TwoFive CTO

インターネットサービスプロバイダーにて法人・個人向けのメールシステムの企画・開発・運用・マネジメントを担当。TwoFive入社後は自社製品のプロダクトマネージャーを務める他、メディアの取材対応や社外ワーキンググループに参加。セミナーやウェビナーでは講師としても登壇。

講演④

13:30 ~ (40分)

複雑で難しいサイバーセキュリティを単純明快にする ～断片的な情報を図解することにつながり理解～

複雑で理解しがたいサイバーセキュリティをシンプルにし、幅広い方々がサイバーセキュリティに身近に取り組める安心安全な社会を日本の次世代につなげたい。そんな思いからSEC道後では何度か登壇させていただいております。

数年前とは大きく変化し、さまざまな取り組みから生まれる情報も入ってくるようになりました。一方で、逆に情報過多による複雑化や、全体像なき断片化が、地域や新しい事業に取り組む企業にとってサイバーセキュリティとの距離感を生むことになっているとも感じています。

そこで本稿では複雑な情報を図解の中で整理し、昨今のサイバーセキュリティ全体像の輪郭を捉える試みを行います。皆さまの思考の一助になれば幸いです。



【講師】

か やま
佳 山 こうせつ 氏
東京電機大学
サイバーセキュリティ研究所
Ridgelinez株式会社

官公庁の大規模インフラシステム開発のセキュリティチームリーダーやお客様向けサービスに関するCSIRT(Computer System Incident Response Team)の立ち上げ、セキュリティ人材育成制度の立ち上げを経てコンサルファームであるRidgelinezに参画。

サイバーセキュリティを中心に、近年急速に変化する脅威を間近で観測し直面した経験と実践知をお客様経営基盤強靱化に活かす。

また、兼務で行っている東京電機大学サイバーセキュリティ研究所研究員の肩書を中心に、国土交通省の最高情報セキュリティアドバイザーや情報処理推進機構(IPA)専門委員、NICT SecHack365トレーナーなど、社会活動への貢献も多数行っている。

Asia-Pacific Information Security Leadership Achievements(ISLA) 受賞(2016)。

ナイトセッション総括

14:55 ~ (40分)

コーディネーター 森 井 昌 克 氏 (神戸大学大学院 名誉教授・特命教授)

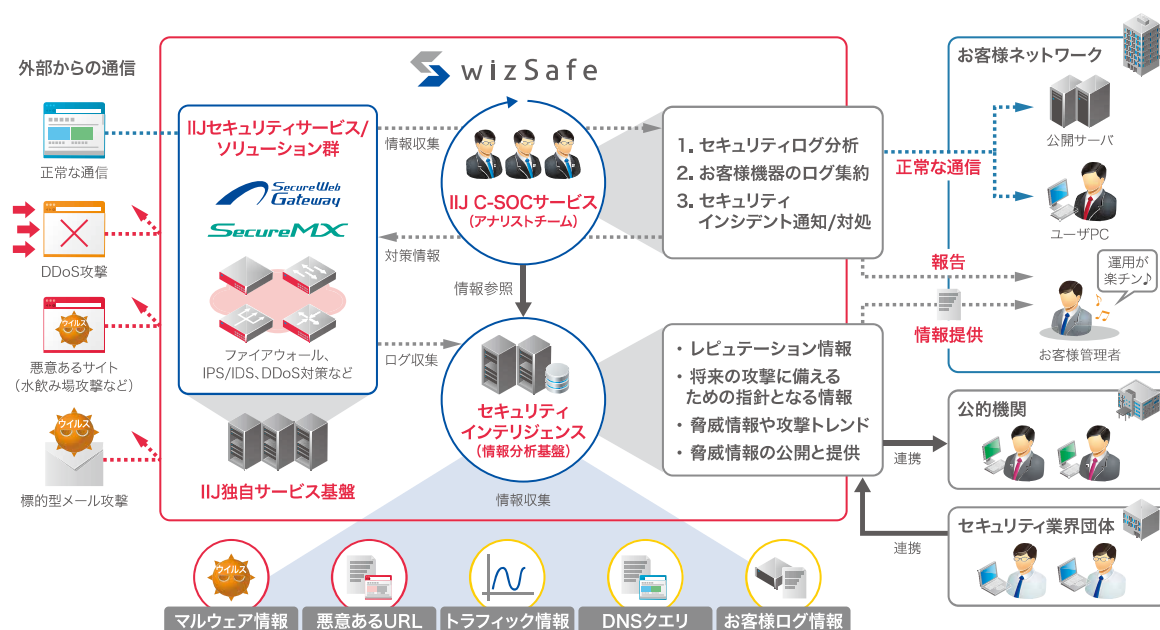
※開催当日のご案内とさせていただきます。



IIJセキュリティ 「wizSafe(ウィズセーフ)」

日本のインターネットを支えてきた「熱い思い」
新たな脅威からお客様を守り続ける「技術力」
すべての人が安心できる世界を実現するのは「IIJ」

wizSafe(ウィズセーフ)は、お客様の安全を実現するために行うIIJのセキュリティの取り組みを総称するブランドです。



wizSafeブランドコンセプト

- 社会を支える** > 安全であることを当然の品質と捉え、安定したIT環境を提供することで、企業の活動から人々の豊かな生活まで、社会を根幹から支えます。
- 安全を高める** > 豊富な情報ソースを基にした分析により得た、独自情報の積極的な提供により、社会全体のセキュリティレベルを高めます。
- 先を見通す** > 次代を先取る先見性を持つと同時に、変化を恐れず、必要に応じて“セキュリティ”を根底から刷新していきます。

ITリスク対策が、 企業を進化させる。

企業の成長には、ITセキュリティ対策が不可欠。
日々、進化するランサムウェアなどのサイバー攻撃に
多層防御による情報漏洩対策を。

導入
1000万台
突破

まだ見ぬテクノロジーの空へ。



SKYSEA

Client View

スカイシー クライアント ビュー

スカイピースは 全データを返すから、 名刺を処分しても 安心。

乗り換え割引
キャンペーン
実施中！

まだ見ぬテクノロジーの空へ。



進化し続ける、営業名刺管理

SKYPCE

出展企業・団体リスト

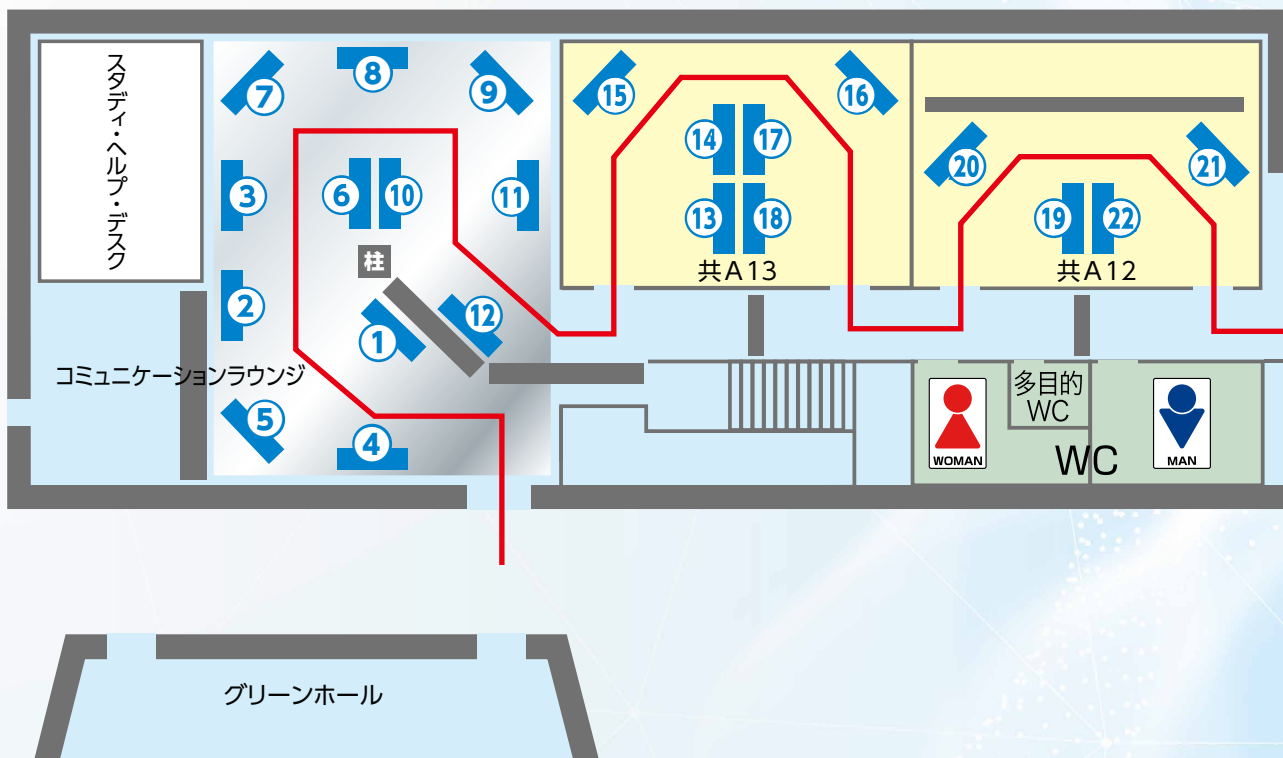
1 株式会社マキナレコード	13 Top Out Human Capital株式会社
2 SecureNavi株式会社	14 株式会社ラネクシー
3 万記子コミュニケーションズ合同会社	15 株式会社くまなんピーシーネット
4 フォーティネットジャパン合同会社	16 サイエンスパーク株式会社
5 株式会社インターネットイニシアティブ	17 株式会社ラック
6 Sky株式会社	18 日本電気株式会社
7 楽天モバイル株式会社	19 株式会社アイランドシックス
8 独立行政法人情報処理推進機構	20 株式会社未来研究所
9 トレンドマイクロ株式会社	21 キーサイト・テクノロジー株式会社
10 国立情報学研究所	22 SCSKセキュリティ株式会社
11 ソフトバンク株式会社	
12 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)	

出展ブース配置図

共通教育講義棟A 1 F

プラチナ協賛社展示スペース

ゴールド協賛社展示スペース



※都合により、実施内容を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

1 株式会社マキナレコード

出展のめいしゅ

今急速に注目が高まっている「サイバー（脅威）インテリジェンス」や「能動的サイバー防御」を活用し、サイバー攻撃を事前に探り、被害を防ぐための対策をご紹介します。インテリジェンスレポートも無料で配布予定です！

出展品名

- 各種サイバーインテリジェンス製品
- サイバーインテリジェンス人材育成トレーニング
- サイバーインテリジェンスマネージドサービス
- セキュリティ体制構築支援



MACHINA RECORD
Cyber Threat Intelligence

<https://machinarecord.com/>

2 SecureNavi株式会社

出展のめいしゅ

SecureNaviは、ISMS認証やPマークにおける取り組みを自動化・効率化し、組織の情報セキュリティレベルを向上させるクラウドサービスです。ぜひ、展示ブースで実際の画面をご覧ください！

出展品名

SecureNavi

SecureNavi

<https://secure-navi.jp/>

3 万記子コミュニケーションズ合同会社

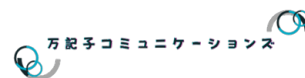
出展のめいし

病院等で導入されているマイナンバーカードと顔認証を使った『書かない窓口ツール』をお試しいただけます。

DX専門官をしている愛媛県内の自治体のチラシや、PPAP撲滅シールも数量限定で配布しています。

出展品名

- ・窓口本人確認ツール
- ・自治体チラシ等
- ・PPAP撲滅シール



<https://makiko.co.jp/corp>

4 フォーティネットジャパン合同会社

出展のめいし

サイバーセキュリティの進化、そしてネットワークとセキュリティのコンバージェンスをリードしてきたフォーティネット。50を超える製品ポートフォリオが連携し多種多様な攻撃・脅威から守ります。

出展品名

- ・セキュアネットワークング
- ・ユニファイドSASE
- ・セキュリティオペレーション



<https://www.fortinet.com/jp>

5 株式会社インターネットイニシアティブ

出展のめいし

IIJが目指すのは、脅威を意識せずに企業が本来の活動に専念し、人々が安心して生活できる未来。IIJは先端技術に取り組むパイオニアとして安心安全な社会に貢献します。

出展品名

- ・IIJセキュリティ教習所
- ・IIJ C-SOCサービス
- ・IIJアタックサーフェスアセスメントソリューション
- ・IIJ漏えいアカウント検知ソリューション



<https://www.ij.ad.jp/>

6 S k y 株式会社

出展のめいし

組織のセキュリティ対策を支援するクライアント運用管理ソフトウェア「SKYSEA Client View」、安全な名刺管理と営業力向上をサポートする営業名刺管理「SKYPCE」をご紹介します。

出展品名

- ・クライアント運用管理ソフトウェア「SKYSEA Client View」
- ・営業名刺管理「SKYPCE」



<https://www.skygroup.jp/>

7 楽天モバイル株式会社

出展のめいし

社用携帯からGIGAスクール用サービスまで、楽天モバイル法人向けサービスのDXソリューションをご紹介します！

出展品名

- ・法人携帯
- ・Rakuten AI for Business
- ・KŌSOKU Access (超高速インターネット接続サービス)
- ・GIGAスクールパッケージ



<https://business.mobile.rakuten.co.jp/>

※都合により、実施内容を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

8 独立行政法人情報処理推進機構

出展のなつじん

サイバーセキュリティに関する最新の資料や取り組みをご紹介します。気になる点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

出展品名

- ・サイバーセキュリティ対策関連資料
- ・各種ガイドラインのご案内、ほか

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

<https://www.ipa.go.jp/>

9トレンドマイクロ株式会社

出展のなつじん

当社はBtoB、BtoC向けの両面でビジネスを展開し、BtoCのコンシューマ領域では詐欺への対応、BtoBのエンタープライズ領域では高度なサイバー攻撃とセキュリティ人材不足への対応を支援しています。

出展品名

- ・トレンドマイクロ 詐欺バスター
- ・Trend Vision One
- ・Attack Surface Risk Management(ASRM)
- ・セキュリティトレーニング

TREND MICRO

https://www.trendmicro.com/ja_jp/business.html

10 国立情報学研究所

出展のなつじん

政府統一基準群のセキュリティポリシーを高等教育機関向けにわかりやすく再構成した「セキュリティポリシーサンプル規程集」と、情報セキュリティ教材コンテンツ「倫倫姫の情報セキュリティ教室」のご紹介。

出展品名

- ・高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集
- ・倫倫姫の情報セキュリティ教室

NII
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所

<https://www.nii.ac.jp/>

11 ソフトバンク株式会社

出展のなつじん

ソフトバンクが注力している中堅中小企業向けセキュリティをご紹介します。中堅中小企業が導入しやすいサービスを取り揃え、いつでも安全にITを利用するための基本的なセキュリティ対策を実現します。

出展品名

ソフトバンクの中堅中小企業向けセキュリティ対策「いつでもセキュリティ」

いつでもセキュリティ

<https://www.softbank.jp/biz/solutions/smb/security/>

12 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)

出展のなつじん

NICTサイバーセキュリティ研究所の取り組みに加え、2024年4月に再出発した新しいNOTICEについて詳しくご紹介します。一緒に働く仲間も募集しています。詳しくはブースへ！！

出展品名

- ・シン・サイバーセキュリティ研究所の取り組み
- ・IoT機器のセキュリティ向上を推進する「NOTICE」プロジェクト

NICT 国立研究開発法人 情報通信研究機構

<https://csri.nict.go.jp/>

13 Top Out Human Capital株式会社

出展のめいしん

サイバーセキュリティ関連の最新の研修をご紹介します。

基礎的なものから、実際に攻撃を体験し手を動かして対応するものまで、皆様の課題に合わせた国内最大規模の研修ラインナップをご用意しております。

出展品名

- CompTIA認定資格対応トレーニング
- EC-Council認定トレーニング
- CYBERGYMトレーニング
- ISACA認定トレーニング
- 他関連研修



<https://www.topout.co.jp/>

14 株式会社ラネクシー

出展のめいしん

内部脅威による情報漏洩から企業を守る、ラネクシーのセキュリティソリューション。

PC操作ログ管理と重要データの持ち出し制御の機能で、情報漏洩に対し、抑止効果・持出制御・原因追跡を可能とします。

出展品名

- MylogStar
- RunDX DeviceControl



<https://www.runexy.co.jp/security-solution/index.html>

15 株式会社くまなんピーシーネット

出展のめいしん

新しい技術に対応した最新のツールの情報公開や、実際の運用をイメージできるよう各種資料をご準備しております！ぜひブースまでお立ち寄りください。

出展品名

- Simple SEIZURE TOOL
- Intella / Belkasoft
- PC-3000
- Sound Cleaner / HX-Recovery



<https://www.kumanan-pcnet.co.jp/forensic/>

16 サイエンスパーク株式会社

出展のめいしん

バイナリからSBOMを自動生成し、脆弱性情報と突合するSBOMスキャナを紹介します。オフライン利用可能で、展示会ではパイロット版デモを展示予定です。ノベルティの温泉タオルを準備してお待ちしています！

出展品名

- SBOMスキャナ
- CL-UIMP (クランプ)



https://sciencepark.co.jp/professional_service/sbomscanner/

17 株式会社ラック

出展のめいしん

「セキュリティ対策との付き合い方」をテーマに、セキュリティ対策立案支援や日々のセキュリティ運用支援、育成手法など、企業の悩みの解消方法について情報提供をさせていただきます。

出展品名

- M365 E3/E5利用下でのセキュリティ運用支援サービス
- 情報セキュリティプランニングサービス (コンサル)
- ラック セキュリティアカデミー (25年度)



<https://www.lac.co.jp/>

※都合により、実施内容を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

18 日本電気株式会社

出展のないうん

NECでは、セキュアな製品・システム・サービスを提供するために、生成AIなどの先進技術を活用し日々進化するサイバー脅威の収集分析・ペネテストによるリスク評価、これらを担う人材の育成に取り組んでいます。

出展品名

- ・AIエージェントを活用したサイバー脅威インテリジェンス生成
- ・脅威ベースペネトレーションテスト (TLPT)
- ・ISACA連携CISA/CISM認定トレーニング

NEC

Orchestrating a brighter world

<https://jpn.nec.com/cybersecurity/index.html>

19 株式会社アイランドシックス

出展のないうん

サイバー攻撃の高度化により、光ファイバネットワークは危険にさらされる可能性があり、PacketLightの400Gb/s光レイヤ1暗号装置を用いたソリューションは、データの機密性と完全性を保証します！

出展品名

- PL-4000M 600G ADM/マックスポンダ
- ・10G/25G/100GbE LAN対応
- ・レイヤ1暗号化対応
- ・QKD(量子鍵配送)システムと連携可能

PacketLight™
NETWORKS

<https://www.packetlight.jp/>

20 株式会社未来研究所

出展のないうん

ASM+レコナイ（偵察）モードとペネトレモードで脆弱性を診断する『イーグスEW』と、イーグスEWと連携してイントラネット（社内）を診断する『セキュアEdge-BOX』で、セキュアな環境を実現します。

出展品名

- ・プラットフォーム脆弱性診断ツール『イーグスEW』
- ・脆弱性対策済み・イーグスEW連携VPN-BOX『セキュアEdge-BOX』

未来研究所

<https://mirai-cybersecurity.jp/>

21 キーサイト・テクノロジー株式会社

出展のないうん

大量トラフィックを集約、フィルタリング、分配してセキュリティツールの能力を最大化するKeysightネットワークパケットブローカーをNDR、IDS、IPSなどのセキュリティツールの連携事例と共にご紹介。

出展品名

Keysight Network Packet Broker, Keysight Network TAP, Keysight Bypass Switch

KEYSIGHT

<https://www.keysight.com/jp/ja/home.html>

22 SCSKセキュリティ株式会社

出展のないうん

2023年8月設立のSCSKセキュリティ株式会社のご紹介と、Palo Alto Networks社のCortex XSIAMを活用した最新のSOCモダライゼーションソリューションをご紹介します。

出展品名

SCSKセキュリティ社の会社紹介およびPalo Alto Networks社統合セキュリティプラットフォームCortex XSIAMのご紹介

SCSK
SCSKセキュリティ株式会社

<https://scsksecurity.co.jp/>

IoT製品セキュリティラベリング制度 (JC-STAR)

**IoT製品に対するセキュリティ要件(適合基準)への適合性を
自己適合宣言又は客観的評価に基づき可視化するラベリング制度を
2025年3月から運用開始！**

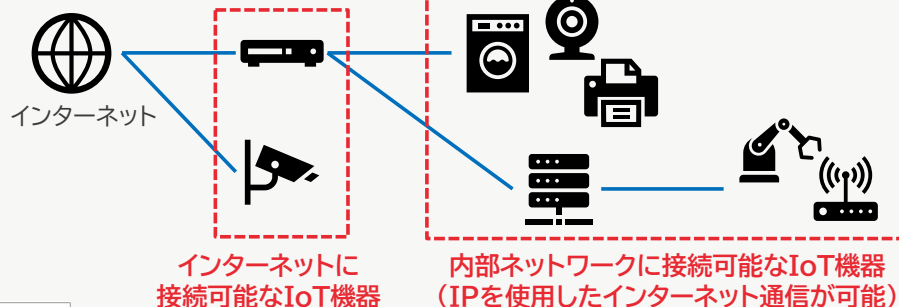
本制度の概要

- IoT製品が具備するセキュリティ機能として満たしてほしい水準にあることを確認するための制度です。
- 求められるセキュリティ要件への適合を満たしたIoT製品に、二次元バーコード付き適合ラベルが付与されます。
- 調達者・消費者は製品詳細や適合評価、セキュリティ情報・問合せ先等の情報を簡単に取得でき、セキュリティ要件を満たした安全なIoT製品を選びやすくなります。

【JC-STAR制度ロゴ】



【対象となるIoT製品】



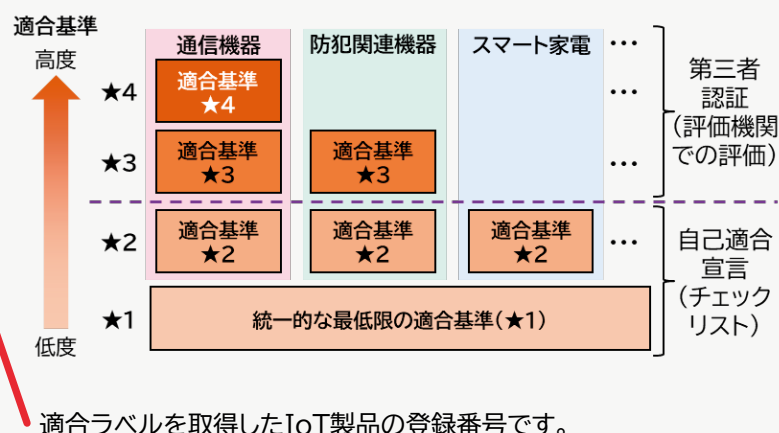
【適合ラベル】



IoT製品が取得した適合ラベルのレベルを表現しています。
★一つがレベル1を、
★四つがレベル4を表します。

適合ラベルを取得したIoT製品情報を確認するため、IPAが管理する「適合ラベル取得IoT製品情報ページ」にリンクします。このページは登録番号ごとに用意されます。

【適合ラベルのレベル】



※JC-STARの正式名称：

セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度

(Labeling Scheme based on Japan Cyber-Security Technical Assessment Requirements)

詳しくはこちらから

<https://www.ipa.go.jp/security/jc-star/index.html>



詐欺電話やネット詐欺から守る防犯アプリ

トレンドマイクロ 詐欺バスター™

多額の金銭を
だまし取る
**特殊詐欺が
急増中!**

特殊詐欺被害

2023年度の特種詐欺被害認知件数

19,038件

1件あたりの被害金額平均

約237万円

出典：警察庁「警察庁・SOS47 特殊詐欺対策ページ」

SNS型投資詐欺被害

SNS型投資詐欺の認知件数

2024年
上半期
前年同期比 **594%**

1件あたりの被害金額平均

1,400万円超
2024年
1月～6月で算出

出典：警察庁「令和6年9月末におけるSNS型投資・
ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について」

詐欺電話やネット詐欺からあなたの財産を守るお手伝い!

トレンドマイクロ 詐欺バスターは、詐欺電話やネット詐欺をブロックする防犯アプリです。
従来からある特殊詐欺やフィッシング詐欺に加え、ディープフェイクなどAIを悪用した最新の詐欺まで対応。
詐欺防止に特化した機能で、巧妙化する詐欺の脅威からあなた守ります。

ディープフェイクとは?

ビックデータを活用して深く学習し本物と同じような偽物を作ることができる技術です。
近年、様々なサイバー犯罪に悪用されるようになってきました。



**詐欺
チェック**
(生成AIによる詐欺判定)



**ディープフェイク
対策**
(ベータ版)



**詐欺電話
対策**※1
※1 iPadOSではご利用
いただけません



**詐欺
メッセージ
対策**



**Web脅威
対策**※2
※2 iOS・iPadOSでは
Safariのみ対応



トレンドマイクロ
詐欺バスター



製品詳細は
こちら

まずは**無料体験版**でお試し!

iOS/iPadOS版

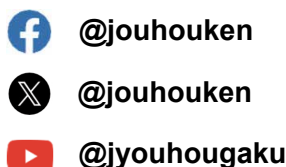


Android版



TREND MICRO

Copyright © 2024 Trend Micro Incorporated. All Rights Reserved. TREND MICROは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。記載されている各社の社名、製品名、およびサービス名は各社の登録商標または商標です。Android、Chrome OS、Chromebook、Google Chrome は Google LLC の商標です。iPad、Mac、macOS、Safari は Apple Inc. の商標です。2024年11月現在の情報をもとに作成されたものです。今後、価格の変更、仕様の変更、バージョンアップ等により、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。



高等教育機関における 情報セキュリティ対策 のための サンプル規程集



高等教育機関における 情報セキュリティポリシー

高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集を公開しています。
「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準（令和5年度改定）」が定める遵守事項に準拠し更新しています。



高等教育機関を守る 情報セキュリティって どんなもの!?

NIIで仕事に勤しむ「情報犬ビットくん」。ふとしたことからPCがウイルスに感染してしまいます。原因と対策を求めて情報セキュリティの現場を見学に行き、そこでビットくんが知ったこととは...!?



倫倫姫の 情報セキュリティ教室

高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進委員会では、教材として「倫倫姫の情報セキュリティ教室」を公開しています。情報セキュリティ分野の変化・進歩に合わせて内容の更新を行い、日本語・英語・中国語・韓国語に対応しています。



これからの「ソフトウェアづくり」 との向き合い方

丸善ライブラリーから「情報研シリーズ」の第25弾が刊行。今日の社会で重要な役割を果たすソフトウェア。構築・運用する側は勿論のこと、「そのソフトウェアが何をすべきか」を決め、企画や発注、十分に判断等を行う組織・ビジネス側も、ソフトウェアで何ができないのか、何が難しいのか、何に注意すべきなのかを把握しておく必要があります。本書では、幅広い読者がソフトウェアづくりにおける考え方を知ることができるよう、開発、品質保証、運用のための活動やその際の原則を概観。AI活用による大きな変化と、これからのソフトウェアづくりへの関わり方に迫ります。



NII Today No.104

[特集]研究データエコシステム 分野を超えた研究データの連携と循環

いまや社会を支える基盤になっている情報学という新しい学術分野の研究について、わかりやすくお伝えする「NII Today」。104号では、研究データエコシステム構築事業を特集します。異なる学術領域の研究データを連携するプラットフォームの構築により、さらなるデータの利活用と研究活動の変革、学際的領域の創発を目指す、本事業の進捗や現在の課題、展望、地域コンソーシアムなどを紹介します。



国立情報学研究所 情報犬ビットくん LINEスタンプ

国立情報学研究所の研究や事業の活動を幅広い年齢層に伝えるために誕生した公式キャラクター「情報犬ビットくん」のスタンプです。売上は小・中学生や高校生等を対象として、情報学の啓蒙活動に当てられます。



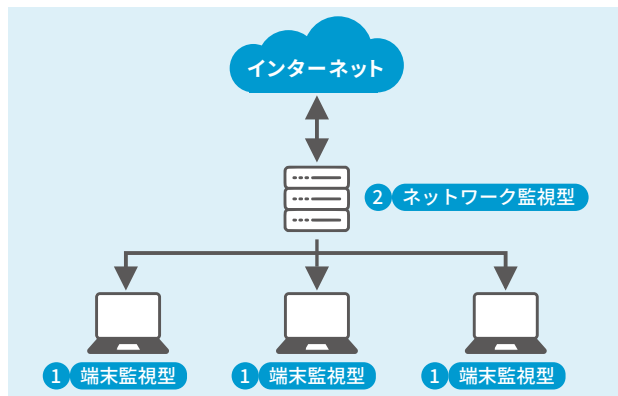
いつでもセキュリティ

SoftBank

「いつでも」「安全に」ITをご利用いただくための基本的なセキュリティ対策を実現！

> 基本的なセキュリティ対策

データが保管される端末と外部との通信が発生するネットワークは基本的なセキュリティ対策箇所です。まずはここから守りましょう！



IPAの中小企業向け制度「サイバーセキュリティお助け隊サービス」では以下を定義

- ① 端末監視型 (EDR等)
万が一端末が感染しても、ネットワークからの隔離などで被害拡大を防止
- ② ネットワーク監視型 (UTM等)
社内ネットワークにサイバー攻撃が侵入しないよう監視・防御
- ③ 併用型 (①と②)

※IPA資料を元に改編

> 各セキュリティサービスの概要

SASE (サシー・サッシー) Zscaler BASEプラン 安全なWebアクセスとリモートアクセスを実現	クラウドプロキシ MBSD Global Security Platform 最新の脅威情報をもとにWebアクセスを精査し、不正通信をリアルタイムに防御	UTM セキュリティお助けパック(ネットワーク) 外部からのサイバー攻撃を監視・ブロック サイバー保険付き (最大100万円/年を補償)
EDR Cybereason Simple Security PC、サーバーを常時監視し、ウイルス対策ソフトをすり抜けた攻撃を検知・対処	EPP ウィズセキュア Elements Endpoint Protection PC、サーバーを既知・未知の攻撃から防御し、パッチ管理機能で脆弱性対策	MTD zIPSモバイルセキュリティ 不正アプリケーション、フィッシングURL、OSの脆弱性などスマホの脅威を検知し、安全に使用
MDM ビジネス・コンシェルデバイスマネジメント スマホ、PCを一元管理し、シングルサインオン(SSO)機能で安全・便利にクラウドサービスへのアクセスを実現	小規模利用を想定。1IDから利用可能なサービスあり！ お手頃価格での提供。多くのサービスが月額ワンコイン以下で利用可能！	

> こんな課題におすすめ！

私用端末でのSaaS利用が心配 おすすめはこちら ビジネス・コンシェル デバイスマネジメント デバイス証明書で私用端末からのアクセスを制限し、多要素認証で安全に！ 100ユーザーの価格感 (月額) 3万円 (iOS/Android 基本メニューの場合)	被害企業の多いランサムウェア対策をしたい おすすめはこちら cybereason ウイルス対策をすり抜けた攻撃の検知や感染端末の自動隔離で被害拡大を防止！ 100ユーザーの価格感 (月額) 5万円 (Basicプランの場合)	テレワークを推進したい おすすめはこちら zscaler™ 在宅や外出先でもPC・モバイルから安全なWebアクセス！ 100ユーザーの価格感 (月額) 5万円 (ZIA BASEプランの場合)
---	---	---

お問い合わせ/ブランドサイト



いつでもセキュリティ
お問い合わせフォーム

<https://www.softbank.jp/biz/contact-us/demand/security/itsudemo-security-inquiry/>



いつでもセキュリティ
紹介 Web サイト

<https://www.softbank.jp/biz/solutions/smb/security/>

あなたの
ルーターや、
ネットワークカメラが

狙われている!?

被害事例や
対策を
チェック!!

QRコード

NOTICE

家庭用
ルーターくん

ネットワーク
カメラちゃん

サイバー攻撃の被害にあわないためにセキュリティ対策を!!



セキュリティ対策が必要なIoT機器の利用者に、ご契約のプロバイダから、注意喚起を行う「NOTICE」プロジェクトを実施しています。

サイバーセキュリティ研究所
Cybersecurity Research Institute

サイバーセキュリティを格好いい仕事に

わたしたちは、一緒に働く新しい仲間を歓迎しています。

NICT サイバー 採用

❖ 実行委員長

小 林 真 也 愛媛大学大学院 教授

❖ 副実行委員長

宮 内 隆 (株) 愛媛CATV 代表取締役社長

村 上 理 一 総務省 四国総合通信局 情報通信部長

❖ 実行委員

森 岡 照 生 愛媛県 企画振興部デジタル戦略局 スマート行政推進課 課長

中 山 敦 広 西日本電信電話(株) 四国支店 副支店長

安 田 浩 (株) 愛媛新聞社 編集局
多メディアニュースセンター副センター長兼システム部長

山 田 慶 人 松山市 総合政策部デジタル戦略課 課長

小 中 邦 徳 愛媛県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課 課長

岡 崎 利 樹 愛媛県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課 サイバー犯罪
対策課長補佐

西 岡 優 総務省 四国総合通信局 電気通信事業課 課長

❖ 顧 問

辻 井 重 男 東京工業大学 名誉教授

下 村 正 洋 NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会 幹事・事務局長

❖ プログラム検討委員

小 林 真 也 愛媛大学大学院 教授

村 上 理 一 総務省 四国総合通信局 情報通信部長

森 井 昌 克 神戸大学大学院 名誉教授・特命教授

西 本 逸 郎 (一社) 日本スマートフォンセキュリティ協会 (JSSEC) 理事・事務局長
(株) ラック技術顧問

佐 藤 公 信 国立開発研究法人情報通信研究機構 (NICT)
サイバーセキュリティネクサス 主任研究員

❖ 特別協力者（五十音順）

岩 内 孝 則	NTTデータ四国 取締役経営企画部長
岡 田 健 瑠	松山市 総合政策部デジタル戦略課 主事
遠 藤 慶 一	愛媛大学大学院 准教授
甲 斐 博	愛媛大学大学院 准教授
影 浦 義 丈	(株)HBソフトスタジオ 代表取締役社長
兼 久 信次郎	日本Androidの会四国支部支部長
川 邊 勇 一	(株)ウイン 営業部 第2営業課 課長
島 田 毅	松山大学経営学部 教授
千 崎 直 人	西日本電信電話(株)四国支店 ビジネス営業部 営業統括部長
曾 根 直 人	鳴門教育大学大学院 教授
瀧 本 則 隆	(株)ユイ・システム工房 システム営業部長
竹 島 誠	(株)ドコモCS四国愛媛支店 担当部長
富 永 竜 也	(株)STNet 愛媛支店 営業部長
松 本 庸 子	(株)ほうきょう 代表取締役会長
三 好 大 助	(株)フェローシステム 代表取締役
八 尾 崇	(株)ラック 技術統括部セキュリティコンサルティングユニット 担当部長
山 田 典 弘	河原電子ビジネス専門学校 教務課長

2024.9.26現在

【継続教育ポイントの付与について】

本シンポジウム参加者には、以下資格の種類に応じて継続教育ポイントが付与されます。

- ① CISA（公認情報システム監査人）/CISM（公認情報セキュリティマネージャー）/CGEIT/CRISC
- ② CISSP/SSCP/CCSP
- ③ ITコーディネータ
- ④ CDFP-P（デジタル・フォレンジック・プロフェッショナル認定 実務者資格）

※詳細は以下をご確認ください。

<https://www.sec-dogo.jp/education/>

【実行委員会事務局】

〒790-0067 愛媛県松山市大手町1-11-4（一般社団法人テレコムサービス協会四国支部事務局内）

TEL 089-956-3555（星企画内） FAX 089-956-3556（星企画内）

E-mail : dinfo@sec-dogo.jp ※会期中のお問い合わせ先 TEL050-5234-3037